

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成31年2月7日 (2019.2.7)

【公開番号】特開2017-170070(P2017-170070A)  
 【公開日】平成29年9月28日 (2017.9.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-037  
 【出願番号】特願2016-62813(P2016-62813)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月21日 (2018.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御するメイン制御手段を備え、  
前記メイン制御手段は、  
第 1 の抽選と、  
第 2 の抽選と、  
を実行可能であり、  
前記メイン制御手段は、所定の抽選テーブルを有し、  
前記メイン制御手段は、  
第 1 の抽選で特定の抽選結果が決定された遊技において、前記所定の抽選テーブルを用  
いて第 2 の抽選を実行する場合を有し、  
第 1 の抽選で所定の抽選結果が決定された遊技において、前記所定の抽選テーブルを用  
いて第 2 の抽選を実行する場合を有し、  
第 2 の抽選を実行する場合において、前記所定の抽選テーブルから所定値を取得したと  
きは、特定演算処理を実行することにより、抽選結果を決定可能とし、  
第 2 の抽選を実行する場合において、前記所定の抽選テーブルから特定値を取得したと  
きは、特定演算処理を実行することなく、抽選結果を決定可能とする  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

従来の遊技機において、当選確率が 1 0 0 % となる抽選を行うときは、乱数値より大きい  
バイト数の確率データを抽選テーブルに記憶していた。

しかし、乱数値より大きいバイト数の確率データを抽選テーブルに記憶すると、その分、  
メモリ容量を必要とする。このため、メモリ容量の削減が望まれていた。

本発明が解決しようとする課題は、乱数を用いて抽選を行う遊技機において、メモリ容量を削減することである。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

請求項 1 の発明は、

遊技の進行を制御するメイン制御手段（メイン制御基板 60）を備え、

前記メイン制御手段は、

第 1 の抽選（条件装置抽選手段 63b による条件装置の抽選）と、

第 2 の抽選（演出抽選手段 63j による移行抽選、AT 抽選、上乗せ抽選）と、

を実行可能であり、

前記メイン制御手段は、所定の抽選テーブル（演出用抽選テーブル 62b）を有し、

前記メイン制御手段は、

第 1 の抽選で特定の抽選結果（スイカ当選）が決定された遊技において、前記所定の抽選テーブルを用いて第 2 の抽選を実行する場合を有し、

第 1 の抽選で所定の抽選結果（チェリー当選）が決定された遊技において、前記所定の抽選テーブルを用いて第 2 の抽選を実行する場合を有し、

第 2 の抽選を実行する場合において、前記所定の抽選テーブルから所定値（確率データ）を取得したとき（図 26 のステップ S60 で「No」のとき）は、特定演算処理（図 26 のステップ S61 の処理（A レジスタの値（乱数値）から確率データを減算する処理））を実行することにより、抽選結果を決定可能とし、

第 2 の抽選を実行する場合において、前記所定の抽選テーブルから特定値（確定データ）を取得したとき（図 26 のステップ S60 で「Yes」のとき）は、特定演算処理を実行することなく、抽選結果を決定可能とする（ステップ S61～S64 をスキップして、ステップ S65 に進む）

ことを特徴とする。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、所定の抽選テーブルから特定値を取得したときは、特定演算処理を実行することなく、抽選結果を決定可能である。

このため、乱数値より大きいバイト数の数値（確率データ）を所定の抽選テーブルに定めることなく、当選確率が 100% となる抽選を実行可能となるので、メモリ容量を削減することができる。